

いなべ警察署協議会議事録

令和7年度第1回いなべ警察署協議会	
日 時 場 所	令和7年6月11日（水）午後4時～午後5時 いなべ警察署3階会議室
出席者	1 三重県公安委員会委員 1名 吉田すみ江委員 2 警察署協議会委員 7名 一木正博委員、小林正孝委員、清水義久委員、 瀬戸口一美委員、高木絵莉委員、出口久雄委員、 古市三奈子委員 3 警察署 8名 署長、副署長、会計課長、生活安全課長、地域課長、 刑事課長、交通課長、警備係長
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
1 感謝状贈呈 2 委嘱状交付 3 公安委員会委員挨拶 4 警察署長挨拶 5 警察署幹部及び警察署協議会委員自己紹介 6 会長、副会長の選出 警察署協議会委員の互選により、会長に一木委員を選出した。会長が瀬戸口委員を副会長に指名した。 7 管内治安情勢（警察署長） (1) 刑法犯認知件数 (2) 特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺発生状況 (3) 交通事故発生状況 8 協議内容 (1) 防犯講話について <委員> 老人会や自治会において、特殊詐欺防止等の防犯講話の機会を設けていただくことは可能か。 【署長】 当然可能である。様々な所で講話の依頼を受け、現状の特殊詐欺の現状や防止対策について説明をしている。また、地域の会合だけでなく、企業への講話依頼があれば赴いているので、そういった要望があれば、お声掛けいただきたい。 (2) 特殊詐欺の発生状況について <委員> 特殊詐欺の発生状況について説明を受けたが、警察で認知していない被害もあるのか。 【署長】 被害に至っていないケースも住民から情報提供を受けており、実際の発生件数はより多いと考えられるので、身近な犯罪であることを認識していただきたい。また、予兆電話を受	

けた相談者に対し、「相手にしない」、「電話に出ない」等防犯対策を住民に指導している。犯罪グループからのアプローチはたくさんあり、身近な犯罪として認識してもらえるよう、防犯講話等を通じて啓発活動をしていく。

(3) 特殊詐欺の手口について

＜委員＞ 知人から「詐欺の電話が固定電話に掛かってきたことがあり、実際に電話対応をすると、詐欺かどうか分からないくらい巧妙な手口になっている。」と聞くがどうか。

【署長】 警察として、できる限り最新の手口の把握に努めているが、犯罪グループの手口は巧妙になっている。オレオレ詐欺が話題になった約20年前に比べると、考えられないくらい詐欺の手口が進化している。今後も最新の手口について情報収集を行い、広報等を通じて住民へ啓発活動を行っていく。

＜委員＞ 警察官を名乗る特殊詐欺の手口があるとニュースで見る。私たちは田舎に住んでいるので、相手が「警察官だ」と言われれば信用してしまうことが多々ある。引き続き防犯講話等啓発活動をしていただきたいと思います。

(4) 道路標識の修繕について

＜委員＞ 管内に設置されている電光式の標識が消灯していたり、標識の一部が剥離して視認性が悪くなっている箇所がある。また、樹木等が覆い被さっており、標識が視認しにくくなっている箇所もあるため、それぞれ対処していただきたい。

【署長】 管内標識について現地調査を行い、対処していくため、剥離等、不備のある標識を発見した際は、随時教示していただきたい。また、樹木の伐採等については、道路管理者等、関係各所と連携し、対応していく。

(5) 道路下の水道管の老朽化について

＜委員＞ 他県において、道路下の水道管の老朽化により道路に穴が開いたとの報道を見たが、万一そのような穴を見つけた場合、どこへ連絡すればいいのか教示してほしい。

【署長】 そのような場合は、道路管理者である県や市が対応することになると思うが、危険な箇所やそれに伴い交通障害等も発生するおそれがあるため、警察へ通報していただいて問題ない。

(6) SNS型投資・ロマンス詐欺について

【副署長】 三重県内、また、いなべ警察署管内においても、SNS型投資・ロマンス詐欺の被害が拡大していることを鑑み、こういった対策が求められるのかについて、次回の協議会において、協議会委員の皆様からも意見を頂きたい。

次回の協議会において議題とするので、御意見等があれば、是非、御発言いただきたい。

9 公安委員会委員講評

10 警察署長謝辞

備 考	
-----	--